

三越伊勢丹グループ 2023年度お取組先アンケート結果概要

三越伊勢丹グループは、企業理念に立脚し企業活動を通じて社会課題の解決に貢献することを目指しており、その一環として、人権課題・環境課題に配慮した持続可能なサプライチェーンの実現に向けた取り組みを進めています。
2023年6月には「お取組先行動規範」を制定し、当社グループの方針をご理解いただきお取組先や調達先の皆さまに実践いただきたい項目をお示しました。今般、「お取組先行動規範」に対するご理解促進とお取組先各社の対応状況の確認のためアンケート調査を実施しましたので、結果概要をご報告いたします。

■ アンケートの概要

実施目的	・三越伊勢丹グループの責任ある調達活動に関する姿勢の理解促進 ・お取組先各社の調達活動におけるコンプライアンスや人権・環境に関する取り組み状況の確認
依頼対象	(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)三越伊勢丹、および関連会社27社(海外子会社含む)の継続的に取引のあるお取組先さま
実施期間	2023年11月～2024年2月
実施方法	オンライン回答
質問項目	・当社のお取組先行動規範各項目への対応状況 ・人権課題に関する対応状況 ・環境課題に関する対応状況 ・人権と環境に関するリスクの認識 ・当社へのご要望

■ アンケートの結果

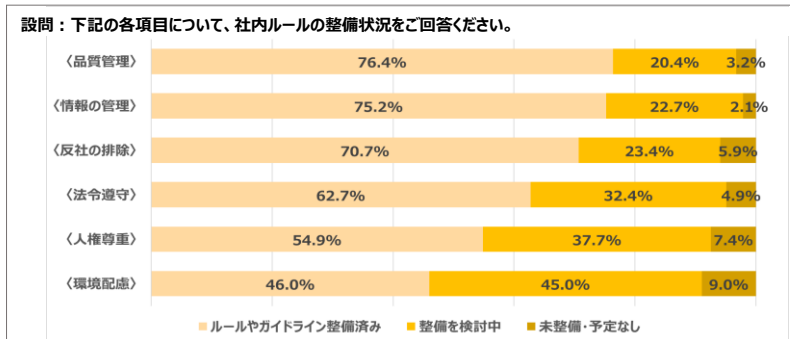
グループ各社のお取組先1万社以上に「お取組先行動規範」を送付し、当社の持続可能なサプライチェーン実現を目指す姿勢へのご理解をお願いしました。同時に本アンケートへの回答をお願いし、約2,700社から回答を頂きました。

① 当社グループの「お取組先行動規範」について



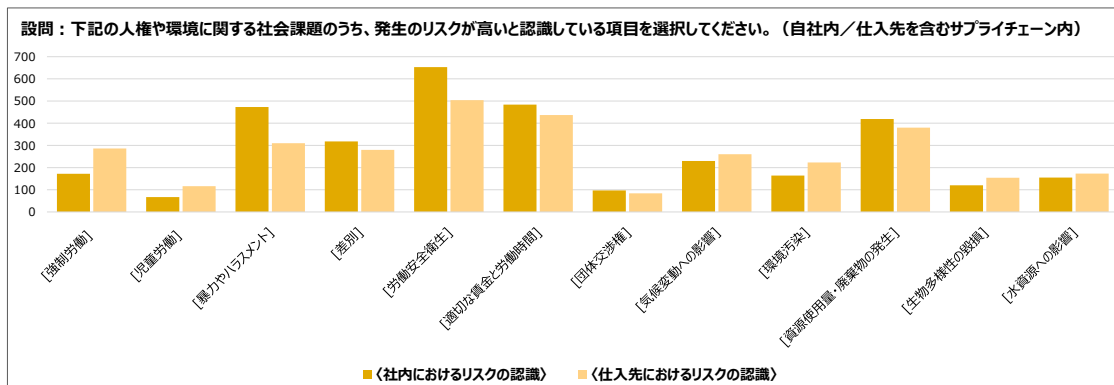
当社の「お取組先行動規範」を「知っていた」という回答は38.7%でした。今後もお取組先との継続的なコミュニケーションを図り、「お取組先行動規範」についてご理解とご協力をお願いしてまいります。

② お取組先各社のコンプライアンス対応状況



コンプライアンス遵守についての社内ルールやガイドラインの整備については、「品質管理」で76.4%、「情報管理」で75.2%が整備済みと高い水準となった一方で、「人権尊重」は54.9%、「環境配慮」は46.0%となり、未整備のお取組先が多くなっています。

③ お取組先の事業におけるリスク認識



人権に関しては「労働安全衛生」「ハラスメント」「賃金と労働時間」を、環境に関しては「資源使用量・廃棄物」をリスクと認識するお取組先が多くなっています。当社グループの百貨店事業とも関連性の高い項目であり、今後お取組先と協働しリスクを低減させる取り組みを推進してまいります。

■ 結果の活用

● お取組先とのエンゲージメントへの反映

当社グループのサプライチェーンにおける人権や環境についての課題を再認識し、お取組先への啓発や支援など解決に向けた取り組みを実施します。また、個社ごとに社会課題への対応状況について課題がみられる場合には、対話を通じてその要因を探り解決に向けて連携してまいります。

● 当社グループが対応すべきサプライチェーン上のリスクの特定

本アンケートにより抽出できた「お取組先が認識するリスク」と、当社グループの事業にとっての重要性を総合的に分析し、当社グループの重点リスクを特定します。

三越伊勢丹グループは、今後もお取組先の皆さまとの協働のもと、持続可能なサプライチェーンの構築に向け取り組んでまいります。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

三越伊勢丹ホールディングス 総務統括部 サステナビリティ推進部 csr@imhds.co.jp